

## 緑丘会小樽支部 令和6年「新年懇親会」開催される

令和6年1月26日（金）小樽支部新年懇親会が小樽ニュー三幸において岸田副幹事長の司会で開催されました。当日は北海道内の天気が大荒れで、飛行機の欠航も多く、また、JRは小樽築港～銭函間の線路が大波をかぶり、銭函（ほしみ駅）～小樽間が不通となり、札幌から小樽行き的高速バスは2時間以上の待ち時間で交通機関が大混乱でした。その為東京から参加された緑丘会永井事務局長、後援会池田事務局長は札幌から急遽タクシー相乗りで来られるなど大変な1日でした。



そのような中、今回の新年懇親会には、大学から穴沢 眞学長・江頭 進副学長・鈴木将史副学長・齊藤大輔事務部長、緑丘会本部から永井健夫常務理事（事務局長）、後援会から山本賢司副理事長・池田喜久雄常務理事（事務局長）、札幌支部から平塚 彰支部長・山谷智恵子副支部長の他、山本眞樹元学長、和田健夫前学長、小樽市から迫 俊哉市長にも参加いただき、来賓・現役学生を含め50名程の参加がありました。

初めに、天野支部長より元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方へ黙祷をささげた後、新年の挨拶に移り、今年は、本日出席されている会員の皆様に、支部行事に新しい人（会員）を連れてきましょうと「一人連れてこようキャンペーン」を展開したいと小樽支部の活性化に臨む強い抱負がありました。



続いて、穴沢学長から3大学の連携等の近況をお話いただき、永井緑丘会常務理事からは正会員の要増強などのお話、迫小樽市長より小樽商大と小樽市の連携強化や小樽市の人口動態の変化や特徴等についてお話をいただきました。

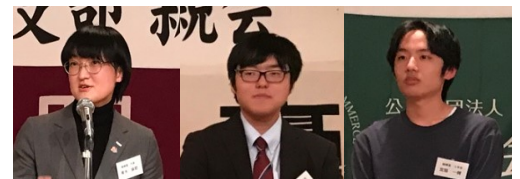


その後、平塚札幌支部長より乾杯のご発声でいよいよ楽しい宴がスタートしました。

宴の中では、池田後援会常務理事より寄附状況、池袋サンシャインの緑丘会館賃貸の件などのスピーチがあり、続いて、久しぶりにご出席いただいた山本元学長から退任後の仕事・現在家事手伝いに励んでいる等のお話、和田前学長からは昨年運河ロードレースに久しぶりの参加等近況についてお話をいただきました。



また、昨年1月発足しちょうど1年経過した学生サークル「緑輝星」青木麻耶代表より活動紹介がありました。6月は緑丘祭への出店、11月には「ホームカミングパーティ」を開催、12月には商大卒の先輩を講師に招き、先輩との交流を深めながら自分の将来について考えるための「きっかけ」を作る第1回「業界研究プチセミナー」を開催した等の報告があり、今後は緑丘会の多くの支部と連携し活発に活動していきたいとの抱負がありました。小樽支部も積極的に「緑輝星」へ協力していきます。



その後、恒例の福引抽選会が行われ、空クジ無で全員が景品をもらい大喜びでした。多くの企業様・個人の皆様から景品をご寄贈いただきまして誠にありがとうございます。

今回出席者の最高齢は、昭和28年卒業の米林榮夫さんでした。毎回出席していただいております。ご高齢の参加が少なくなってきた中、主催者にとって大変ありがたく感謝しています。また、東京在住の市原敏様（昭和45年卒）が当日小樽に来ていたので参加していただきました。この時期小樽に来ている方、ぜひ小樽支部新年懇親会への参加大歓迎です。今後も年代を超えた同窓生の交流を更に深めていきたいと思っております。



閉会が近づき、第79代応援団の大坂則幸さん（平成9年卒業）によりエールがきられ、校歌斉唱を大合唱し、最後に大森正昭小樽支部副支部長の締めで閉会となりました。小樽支部としても、まずは定時総会・新年懇親会に多くの同窓生に参加していただき同窓の輪を広げていきたいと考えています。また、他支部との交流も活発にしていく決意です。皆様のご協力よろしく申し上げます。

